

**令和7年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援
【メニュー2：複数大学等連携】 計画書【連携大学毎（代表校含む）】**

学校法人及び大学			
法人番号	101003	学校法人名	学校法人 共愛学園
学校コード	A01	学校名	共愛学園前橋国際大学
			自大学の配分割合
			%

1. 事業内容（4ページ以内）

（1）連携大学毎の実施体制・連携事業における役割

（1-1）学校運営面における取組計画

本事業を推進する一般社団法人学修評価・教育開発協議会（以下「一社協議会」）は、「地域を越えた中小規模大学の連携」を理念に掲げ、各大学がそれぞれの地域において特色ある存在として持続的に機能することを目的に、共同で課題解決に取り組んでいる。また、令和3年度末には大学等連携推進法人に認定され、教学上の特例措置を活用した新たな事業の展開が可能となるなど、連携の幅を一層広げている。

学内での実施体制に関しては、一社協議会には、企画調整委員会およびIR研究委員会が設置されているが、これら委員会とその下部に設置されたワーキンググループに教務学生部長及び教務グループ（委員）長が参加し、教務グループ（委員会）などの学内のグループ（委員会）と連絡調整や事業の促進を行う体制をとっている。

（1-2）教学面における取組計画

加盟大学が全国各地に分散していることから、教学面での連携強化が求められる中、本学では「誰一人取り残さない教育」の実現を理念に掲げ、動画、ディスカッション、小テストなどを組み合わせた非リアルタイム型のオンデマンド授業を展開してきた。この取り組みを活かし、連携開設科目の実施にあたっては、オンラインを活用した教育手法に関するFD研修を、本学が中心となって実施している。

本学の設置母体である共愛学園は、全国でも有数の歴史を有するキリスト教主義の教育機関である。本学は一学部一学科の単科大学として、キリスト教の価値観に基づいた教育を重視しており、連携開設科目として「キリスト教と多文化社会」や「現代社会と聖書」など、キリスト教に関連する科目を開講している。

一方で、本学では開講していない分野の学びについては、他大学との連携により補完している。たとえば、関西国際大学の「コミュニティ防災」や札幌国際大学の「観光事業論」などの科目を、本学の学生がオンラインまたはオンデマンド形式で受講することで、多様な分野に触れる学びの機会を広げている。

また、本学では2023年度よりカリキュラム改編を実施し、新たに「GLOBAL科目」の科目群を設置した。これにより、従来は一部の学生のみが履修していた地域課題に関する科目を、すべての学生が履修する仕組みへと転換している。さらに、一社協議会では、加盟大学の学生チームがボランティア活動やサービスラーニングなど、教室外での実践的な体験をもとに学びを発表し合い、相互に意見交換を行う「オフキャンパス会」

令和7年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援
【メニュー2：複数大学等連携】 計画書【連携大学毎（代表校含む）】

が実施されている。本学もこの会に積極的に参加し、学生の学びを基盤とした地域と大学が一体となる取り組みを推進している。

（2）大学等における経営改革に関する計画

加盟大学間で教育および人材育成に関する資源を相互に共有することにより、各大学の強みを活かした専門性の高い授業を提供する体制を構築する。これにより、単独の大学では提供が難しい分野や高度な内容の科目も履修可能となり、学生の学習意欲の向上や進路選択の多様化が期待される。また、学生が参加する「オフキャンパス報告会」を通じて、学びの成果を発表する機会を設けることで、学修成果の可視化と対外的な広報効果を実現する。これにより、大学の教育活動に対する信頼性や魅力が高まり、広報戦略の一環としても機能する。さらに、会員校間で実施されるFD（Faculty Development）およびSD（Staff Development）は、教職員の専門性を高めるとともに、業務の質的向上や効率化を促す。教員・職員が共通の課題に取り組み、先進的な知見を共有することで、連携強化が図られ、継続的な組織改善にもつながる仕組みとなっている。